

協議会委員からの意見及び事務局回答（全体に対する意見）

意見 (記載ページ数は、送付した素案による)	事務局回答 (記載ページ数は、「資料 1」による)
P54②野菜・果物・・・少ない のところと思うことは、東久留米市内には、まだ生産緑地があり、野菜の無人販売所が点在しています。 これって、すごい魅力に私には思えます。そんな市のちょっとした“強み”も本題とはズレますが、ご紹介してもいいかななんて思いました。	第2次計画の推進体制の中心として位置付けてきた「東くるめわくわく元気plus+」事業へのご協力をいただき、心より感謝申し上げます。本事業の評価につきましては、素案9ページ「2 取組の推進結果 ③市民が気軽に健康行動をとれる環境づくり」に記載しておりますので、ご参照ください。 第3次計画における重点的な推進体制として、ウォーキングマップを中心としたデジタルマップ等アプリを新たに開発し、市民の健康づくりに活用していただくツールとして実施していくこととしております。
今回は第2次の終了と、来年度第3次のスタートを迎える時期ですので、これについて私見を述べたいと思います。 共通命題は 不変で良いと思いますが、第2次の目玉の1つ「東くるめわくわく元気plus+事業が来年3月で終了と聞いていますが、その記述がない（反省もない）」、第3次の目玉の1つ「スマホを使っの市民の健康管理システムの記述もない」。 要は、市民が納得して、興味を持って協力、取り組めるものを目に見える形で提示していただきたいと思います。永年、健康推進事業の一端を担ってきた者として、是非市民がわかりやすく、納得のゆく形で纏めていただきたく、提言させていただきました。	具体的には、市民に大変好評なウォーキングマップのコースを掲載し、日々のウォーキングでポイントを付与し、市内特産品等の抽選に応募する等の楽しみを盛り込んでいます。また、市内地場産野菜直売所をマップ上に表示し、庁内栄養士作成の野菜レシピも掲載し、市民が新鮮な野菜を多く摂取することにつながるような内容としています。加えて、健康情報やイベントのプッシュ配信を行い、アプリに登録することで様々な情報が得られるようにしていきます。 日々の健康づくりのツールとなるアプリを本計画の推進体制の中心に据えて取り組むこととしておりますので、素案48ページの「2 計画の基本方針 (2)気軽に健康的な行動をとることができる環境づくり」に追記しております。
健康管理は食事と運動・睡眠が基本と思われます。 バランスのとれた三度の食事、規則正しい生活を送るよう年齢を問わず心がけること、毎日の積み重ねが大切とわかっていても実践は難しいです。そのような時に仲間やイベント・情報提供があると一歩進める気がします。それが社会参加にもつながり、健康な人が増え、「みんないきいきのまちづくり」に発展するのでは、と思ったりもします。	なお、本アプリの実施に当たっては、シニアクラブや介護予防教室等のご協力も得て、高齢者に対し、アプリの操作等について伝えるスマホ教室を開催していくこととしております（令和7～8年度実施）。
わくわく健康プラン東くるめ（第3次）素案とてもわかりやすいです。 第1次・第2次と引き続き7つの生活習慣に取り組み、いきいきと健康に暮らせるまちのため、健康づくりの情報や活動を市民に発信していきたいと思います。	本計画は、推進員、関係機関、行政が協働して取り組むこととしております。 特に推進員は市民にとって身近な存在ですので、今後も健康づくりを発信する活動を、市と共に取り組んでいただけますようお願いいたします。
「みんなが主役 いきいきと健康に暮らせるまち」の理念通り各分野とてもわかりやすく自分自身の健康にとっても役立ちそうです。 各市民センターにこの結果を手に取り、だれか説明をいつでもできるともっと成果が出るのではと思います。	素案内容について、「わかりやすい」「知らないデータだった」とのご感想をいただきありがとうございます。 特に、本計画に掲載しているグラフ等は、推進員活動の一環で「パネル展示」として市民に周知していく予定です。ご意見を踏まえ、今後、効果的な周知方法を検討していきます。
この素案から興味深い部分を抜粋してスポーツ推進（委員）で発表していますが、委員は、皆ビックリしています。 スポーツを推進する立場の我々でも知らないデータなので一般市民はもっと知る術はないのだろうと思い、表面で、①現状の露出②市民への認知③それを踏まえた具体的なプラン、と記しました。	また、「Tips」にあるような健康情報につきましても、市民に周知できるよう「パネル展示」等を通して、地道に推進員活動を行っていくと共に、市ホームページやデジタルマップ等アプリで発信する等、広く周知していくようにいたします。
素案全体として構成もよく整理されていてわかりやすくより充実した内容になっていると思います。 健康分野ごとに市民が自分の健康づくりにどう向き合ったらよいか、市として市民の取り組みをどのようにサポートしていくか、わかりやすく明示されているのがよいと思います。 「Tips」コーナーは、健康意識が低い人に対して自分の健康への関心を高めるとともに取り組む意欲を促す効果が期待できると思います。 分野ごとに様々な課題【例えば高齢者の運動習慣や社会参加が低い（職を退いた男性）、飲酒による健康被害への危機意識が乏しいなど】が判明していますが、こうした方々が自分の健康づくりと真剣に向き合うことができるように意識改革を促すとともに粘り強い働きかけが求められると思います。	

全体として、戦略＝「今後の方向性」及び「分野別の指標」は明示されているが、戦術＝「取り組み」に具体性が弱いと感じました。 P.6の「数値目標の最終評価結果」の「改善等の最終評価」で「C:悪化」かつ「指標に対する最終評価」が「未達成」となっている項目については、重点目標として特出しし、詳細で具体的な戦術＝取り組みについて掲載することが必要なのではないのでしょうか。その方が、総花的にならずメリハリのある計画書になると思います。	第3次計画における「今後の戦略、戦術について、もっと具体性を持つべき」とのご助言をありがとうございます。 前述のとおり、本計画の推進体制では、市民の健康増進の環境づくりとして、デジタルマップ等アプリを中心に据えていくこととしておりますので、素案48ページ「2 計画の基本方針 (2)気軽に健康的な行動をとることができる環境づくり」に追記いたしました。 本アプリでは、ウォーキングの他、市民の健康課題である「野菜摂取」に関する情報掲載や、健康情報及びイベント等のプッシュ配信を行い、「社会参加」や「がん検診受診」の重要性も情報提供をしていくこととしております。したがって、素案6～8ページ「1 数値目標の最終評価結果」において、「C:悪化」となった市民の健康課題については、上記のように取り組んでまいります。 なお、第2次計画の「指標の目標値」につきましては、第1次計画の時より、市民と共に「目指す姿」として高い目標値を設定してきた経緯があり、最終評価での達成は大変困難な状況でした。そのため、本計画では指標の設定を再検討し、東京都健康推進プラン21（第三次）の評価方法を参考にして行うこととし、素案49ページ「2 計画の基本方針 (5)分野別目標及び指標の設定」に記載しております。
---	---